

私は、**二級木造** 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者が実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

宮崎県指定登録機関 殿
一般社団法人宮崎県建築士会

氏名 建築士郎

勤務先等

| 勤務先(部課名まで) | 所在地(番地まで) | 在職期間の合計 | |
|--------------------------|-------------------|-----------------|------------------------|
| | | 年月～年月 | 年月数 |
| 株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課 | 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 | H30年 4月～ R3年 6月 | 3年3月 |
| 在職期間 | | 地位職名 | 建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二) |
| 年月～年月 | 年月数 | | |
| H31年4月～R3年3月 | 2年 0月 | 技師 | 建築物の工事監理に関する実務 |
| 年 年～ 年 月 | 年 月 | | |
| 年 年～ 年 月 | 年 月 | | |

建築実務の詳細

建築実務経験期間の合計

2年 0月

| (1) | 対象物件の名称等 | 対象物件の所在地 | 建築実務経験期間 | | |
|---|----------|-------------------|----------------|---------|-------|
| | | | 年月～年月 | 建築実務の割合 | 年月数 |
| | S 邸 | 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 | H31年 4月～R1年 7月 | 100 % | 0年 4月 |
| 実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) | | | | | |
| 専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。 | | | | | |

| (2) | 対象物件の名称等 | 対象物件の所在地 | 建築実務経験期間 | | |
|--|----------|-------------------|---------------|---------|-------|
| | | | 年月～年月 | 建築実務の割合 | 年月数 |
| | Y 邸 | 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 | R1年 8月～R2年 1月 | 100 % | 0年 6月 |
| 実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) | | | | | |
| 専用住宅(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積200㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。 | | | | | |

| (3) | 対象物件の名称等 | 対象物件の所在地 | 建築実務経験期間 | | |
|---|----------|-------------------|---------------|---------|------|
| | | | 年月～年月 | 建築実務の割合 | 年月数 |
| | 〇〇マンション | 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 | R2年 2月～R3年 3月 | 100 % | 1年2月 |
| 実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等) | | | | | |
| 共同住宅(鉄筋コンクリート造10階建て、延べ面積1,500㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。 | | | | | |

※指定登録機関記載欄

注意 数字は、算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けてください。
 [記入注意] この実務経歴書は勤務先(自営業を含む)毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を古い順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。
 上記の「建築実務の詳細」の記入欄が不足する場合は、実務経歴証明書(2枚目)の(4)以降に記入してください。